



大学サバイバル時代、本当に選ばれる大学とは！？

「学費ナビ大賞 2026」ランキング発表！

補助金・科研費を新たに評価対象に追加

偏差値では見えない大学を可視化

大学を取り巻く環境が大きく変化しています。18歳人口の減少が続くなか、定員割れに直面する大学は増加し、財務省は大学の再編・統合や定員削減を提言するなど、「大学サバイバル時代」とも呼ばれる状況が現実のものとなっています。こうしたなか、大学選びにおいても偏差値だけでは見えない「大学の實力」を見極めることが重要になっています。株式会社アイガー(所在地：東京都千代田区丸の内1丁目-9-1 グラントウキョウノースタワー36F、代表取締役：木田 裕士、上場市場：TOKYO PRO Market、証券コード：9226)が運営する学費検索・比較サイト「学費ナビ」は、「学費ナビ大賞 2026」を発表しました。本ランキングは、学費や奨学金、入学定員充足率、収容定員充足率、就職率、退学率、教員1人当たり学生数に加え、2026年版では新たに補助金と科研費を評価対象に追加。さらに私立医療系大学部門では国家資格合格率も評価し、大学の教育力、研究力、経営基盤を多面的に可視化しています。

【総合部門（全国私立大学）ランキング上位10校】

順位	大学名	得点
1	豊田工業大学	58.12
2	山口学芸大学	55.63
3	日本社会事業大学	55.61
4	高崎健康福祉大学	55.45
5	創価大学	55.14
6	清泉大学	54.91
7	福岡大学	54.75
8	南山大学	54.60
9	鎮西学院大学	54.56
10	宮崎産業経営大学	54.46

【各部門上位3校】

国公立大学部門	得点	短期大学部門	得点	私立医療系大学部門	得点
① 鳴門教育大学	54.88	① 静岡県立大学短期大学部	58.77	① 関西医科大学	56.61
② 豊橋技術科学大学	54.19	② 岩手県立大学盛岡短期大学部	57.68	② 東京慈恵会医科大学	56.53
③ 東京都立大学	54.10	③ 会津大学短期大学部	57.65	③ 順天堂大学	56.26

スコアは「収容定員充足率」「入学定員充足率」「就職率」「退学率」「教員 1 人当たり学生数」「学費」「奨学金」「補助金」「科研費」の 9 項目をもとに、私立医療系大学はさらに「医療系国家資格合格率」をもとにスコア算出しました。「学費」の評価に比重を置き、ほかの項目は均等な比重としています。

【総合部門 1～3 位の評価】

1 位 豊田工業大学

学費面での優位性に加え、少人数教育による充実した学習環境と高い研究力が総合的に評価されました。

2 位 山口学芸大学

高い就職実績と学生募集力に加え、少人数教育による手厚い教育環境が上位評価につながりました。

3 位 日本社会事業大学

家計負担を抑えた学費水準と安定した経営基盤が強みとなり、総合部門 3 位に入りました。

【評価の概要】

「学費ナビ大賞」は、学生・保護者が大学を“経済的・教育的両面”から選べる指標を提供することを目的としています。従来の偏差値中心の大学選びとは異なり、通いやすさ・学びやすさ・支援体制に加え教育力や研究力にも焦点を当てて、大学の公表資料等をもとに実データを分析しました。各評価項目の実データを偏差値化して、評点の平均点を総合点としています。各スコアは偏差値であり、率（％）ではないことにご留意ください。

評価項目：

- ・学費（経済的な通いやすさ）：評点が高いほど家計に優しい学費、他の項目に比べ1.5倍の評価
- ・収容定員充足（在学生数の安定度）：評点が高いほど在学生数が安定、大学経営の健全性を示す
- ・入学定員充足（志願・入学の人気度）：評点が高いほど学生に人気がある
- ・就職（卒業後の進路実績）：評点が高いほど就職率が良い
- ・退学（学びやすさ・環境の維持）：評点が高いほど退学率が低い
- ・教員1人当たり学生（教育体制の充実度）：評点が高いほど手厚い教育
- ・奨学金（支援の手厚さ）：貸与ではなく給付型の充実度

- | | |
|-------------------|------------------|
| ・補助金（大学の経営基盤） | ： 評点が高いほど経営基盤が安定 |
| ・科研費（研究力） | ： 評点が高いほど研究力に強み |
| ・医療系国家資格合格率（教育成果） | ： 評点が高いほど教育成果が充実 |

※全ランキングとスコア、評価項目の詳細は学費ナビ特設ページで公開中

<https://www.gakuhi-navi.com/award/2026>

【主催者コメント】

「受験生や保護者の方から、『大学は偏差値以外に何を見ればよいのでしょうか』という声をいただくことがあります。大学選びは、入学することがゴールではありません。卒業まで安心して学べる環境があるか、十分な支援が受けられるか、そして社会に出るための力を身につけられるかも大切な視点です。今回のランキングでは、そうした大学の姿を客観的なデータから見える化することを目指しました。順位だけでなく、それぞれの大学がどのような特徴や強みを持っているのかにも注目していただければと思います。学費ナビ大賞が、受験生や保護者の皆さまにとって、自分に合った大学を見つけるきっかけになれば幸いです」

株式会社アイガー 学費ナビ統括プロデューサー 齋藤敏之

「学校選びの新しいカタチ [学費ナビ]」

- ・小中高版 <https://sch.gakuhi-navi.com>
- ・大学版 <https://www.gakuhi-navi.com>
- ・専門学校版 <https://www.gakuhi-navi.com/spectrain>

「初任給、その金額で大丈夫ですか？ [初任給ナビ]」

- ・初任給ナビ <https://www.shoninkyu.com>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社アイガー経営管理局：齋藤、白木
tel：03-3216-6111（直）
e-mail：info@iger.jp